



令和6年度入省予定 環境省総合職理工系

# 内定者の声

- \* 内定者プロフィール
- \* 公務員試験対策
- \* 官庁訪問体験記

# はじめに

「内定者の声」を手にとっていただき、ありがとうございます。

本書は未来の仕事仲間たる皆さんの不安や疑問を解消するために、内定者の私たちが作成したものです。第1部では「内定者はどのような人か」、第2部では「公務員試験をどのように乗り切ったか」、第3部では「官庁訪問はどうだったか」について記載しています。ぜひご参考にしてください！

2023年12月 令和6年度入省予定 環境省総合職理工系内定者一同

## 本冊子の構成

### はじめに (P.1)

### 第1部 内定者を知ろう！ (P.2 ～ P.23)

- ・ 内定者の基本データ（学科/専攻、性別、就活スケジュール等）
- ・ 志望動機
- ・ 環境省を志望される方へのメッセージなど

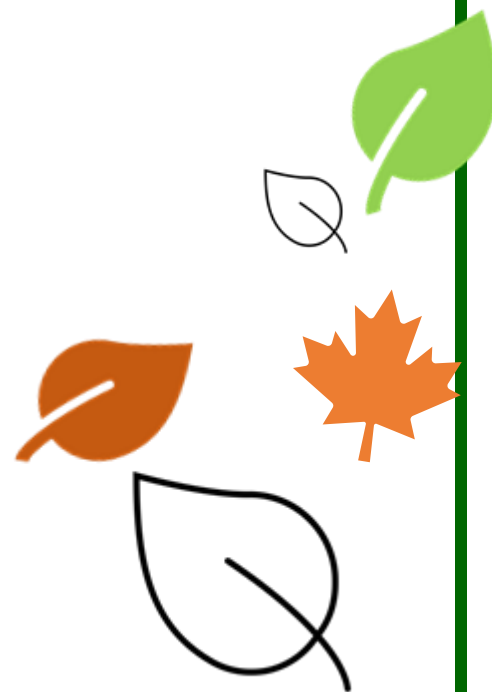
### 第2部 公務員試験を知ろう！ (P.24 ～ P.47)

- ・ 内定者の公務員試験基本データ（試験区分、席次等）
- ・ 勉強量について
- ・ 勉強内容・試験内容について

### 第3部 官庁訪問を知ろう！ (P.48 ～ P.60)

- ・ 環境省の官庁訪問について
- ・ 内定者の官庁訪問基本データ（併願先等）
- ・ 官庁訪問参加者による座談会

### おわりに (P.61)





# 第1部 内定者を知ろう！



## 第1部 内定者を知ろう！

令和6年度入省予定の総合職理工系内定者は、全10名となりました。

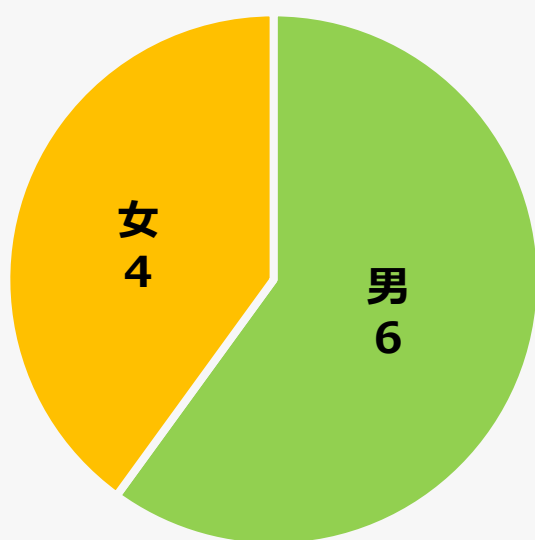
第1部では、まず今年の内定者の内訳を過去5年間のデータと併せて概説したのち、内定者各人のプロフィールを掲載しています。

また、個人情報保護の観点から実名の代わりに各内定者のペンネームを使用しています。あらかじめご了承ください。

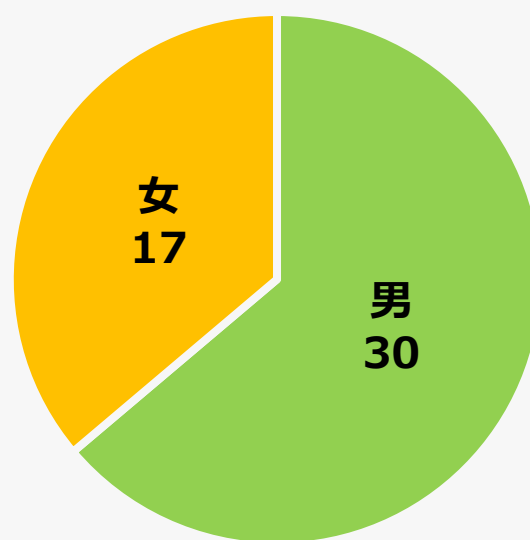
### □ 内定者の基本データ

#### □ 男女比

令和6年度入省予定内定者



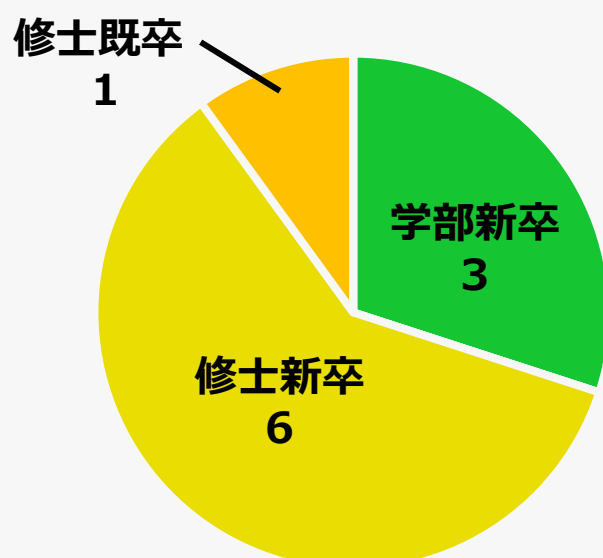
過去5年間



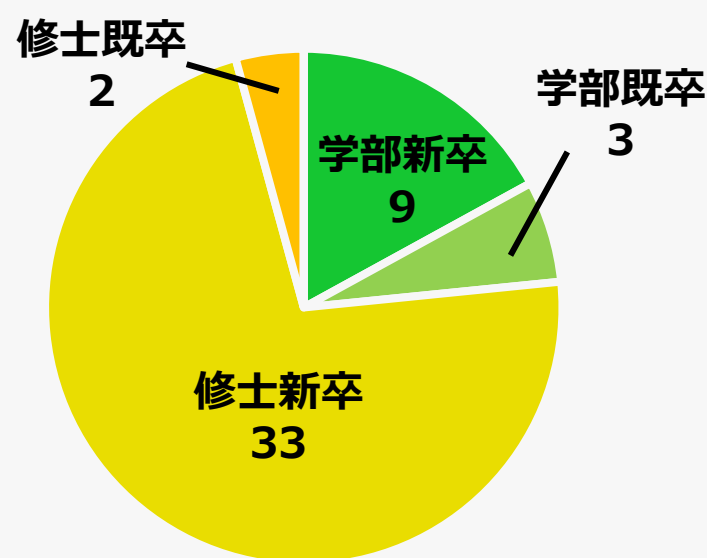
(単位：人)

#### □ 最終学歴

令和6年度入省予定内定者



過去5年間



(単位：人)

次のページからは総合職理工系内定者10名一人一人を紹介していきます。

趣味や研究内容から、環境省を目指した理由まで詳しく載せているので、ぜひ参考にしてみてください！

No.1 鮭おにぎり（22歳・女）

プロフィール



|          |                                                                                                |
|----------|------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 試験区分     | 農業科学・水産                                                                                        |
| 大学所在地    | 神奈川県                                                                                           |
| 学部/研究科   | 農学部                                                                                            |
| 学科/専攻    | 生命科学科                                                                                          |
| 研究内容     | 植物と微生物の共生応答の受容体について                                                                            |
| 出身地      | 千葉県                                                                                            |
| 部活動/サークル | ボランティアサークル                                                                                     |
| 趣味/特技    | クラシックバレエ  |
| 好きなもの    | 動物、ナッツ、カフェオレ                                                                                   |

就活事情

|           |                   |
|-----------|-------------------|
| 併願先(民間)   | 環境ベンチャー企業、リサイクル業界 |
| 併願先(官公庁等) | 農林水産省             |
| インターン参加先  | なし                |

大学3年

環境問題に貢献したいという思いを軸として、就職活動を開始。

はじめは国家公務員を視野に入れていなかったが、課題に真正面から向き合う国家公務員の姿に共感して、6月頃国家公務員を目指すことを決意。

民間就活も並行しながら、夏休み頃から公務員試験勉強を始めた。

大学4年

就活や試験対策に集中し、無事公務員試験に最終合格。民間企業からも内々定をいただく。

農林水産省と迷うも、最終的に環境省を選択し、内定。



カワウソとの握手体験をしました！

## □ 環境省を志望した理由

### 興味を持ったきっかけ

海面上昇によるツバル存続の危機に心を痛めたことをきっかけに環境問題に興味を持つようになり、高校・大学時代の活動などを通して環境問題をなんとかしたい！という思いが強まっていました。環境を軸に就職活動をする中で、環境問題に真正面から向き合えるのはまさに環境省の仕事だと思い、興味を持ちました。

### 併願先との比較

農林水産省においても環境問題への関わりが見られ、大学での専攻分野と重なり興味深いということもあり併願しました。両省の業務分野には共通している部分も多くありますが、環境を軸として考えるのか、農業の発展を軸として考えるのかというところに違いがあると思います。

### 最終的な決め手

どちらの省もとても魅力的で最後の最後まですごく悩みましたが、やはり私は環境問題の解決を軸として仕事をしたいと思い、その軸と合致しているのは環境省であると感じて環境省に行かせていただくことに決めました。

## □ 就活エピソード

大きな不安を抱えながらも楽しんで進めることができました。公務員と民間企業を併願したことで、試験勉強とその他の就活準備を気分に応じて切り替えながらできたので、煮詰まらずにリフレッシュしながら進められました。



### Success !!

学部2年頃の早い段階から、自分がやりたい仕事を考えておいたことや、就職キャリアセンターで模擬面接を何度もやっていただいたことは良かったです！

### Failure ...

省庁主催の説明会にもっと積極的に参加して、その都度感想をしっかりと残しておくことで、官庁訪問の前々から政策に関する自分の意見を深めておくべきだったなと思いました。



## □ 環境省を目指す方へのメッセージ・アドバイス

国家公務員を目指すのは大変そうだなと半ば諦めかけてしまう方も少なくないかもしれませんが、少しでも国家公務員が自分の目指したい姿なのであればぜひチャレンジしてみてください！目標に向かって頑張ったり、説明会や官庁訪問に参加したりと、公務員を目指したからこそ得られた新たな気づきや達成感がたくさんあります！それらを味わいながら、楽しんで前向きに頑張ってください！楽しむことが合格、内定への近道だと感じます。応援しています！！

# No.2 こうま（23歳・男）

## プロフィール



|          |                                  |
|----------|----------------------------------|
| 試験区分     | 化学・生物・薬学                         |
| 大学所在地    | 神奈川県                             |
| 学部/研究科   | 環境情報学府                           |
| 学科/専攻    | 人工環境専攻                           |
| 研究内容     | 太陽光発電と蓄電池を用いた<br>マイクログリッドの社会便益分析 |
| 出身地      | 東京都                              |
| 部活動/サークル | 陸上競技（主に短距離）                      |
| 趣味/特技    | 音楽を聴くこと・走ること                     |
| 好きなもの    | 音楽ライブへ行くこと                       |

## 就活事情

|           |                             |
|-----------|-----------------------------|
| 併願先(民間)   | エネルギー商社                     |
| 併願先(官公庁等) | 経済産業省、東京都、神奈川県              |
| インターン参加先  | 環境省、シンクタンク、電力会社、<br>エネルギー商社 |



### 大学3年

地球温暖化への興味＆研究面も人間面も魅力的な教授との出会いから、環境分野の研究室に入る

### 大学4年

新たに学ぶ分野に苦戦しながら、卒論を仕上げる卒業するタイミングで環境省を目指すことを決意

### 大学院1年

研究・授業・就活・試験対策に追われる日々  
環境省の説明会に参加し、やりたいことを具体化

### 大学院2年

民間就活と並行しながら、公務員試験を受け合格  
経産省と悩んだ末、最終的には環境省を選び内定

音楽ライブに  
よく行きます！

## □ 環境省を志望した理由

### 興味を持ったきっかけ

関東に台風が上陸した際の被害を実際に目にして、自分ではどうすることのできない自然災害の脅威を実感し、環境問題の解決に貢献したいと思ったことがきっかけです。大学の研究活動を行う中で、国としての方向性を定め、環境問題の解決に対して「主体的に・責任をもって」動いていける環境省を志望するようになりました。

### 併願先との比較

経済産業省を併願していました。研究内容が「エネルギー技術の環境影響・経済効果の分析」であったことから、環境省・経産省どちらの業務にも興味を持っていました。経産省でも、2050年カーボンニュートラル達成に向けて責任もって取り組んでいけるため悩みましたが、官庁訪問の最後の最後まで考え抜いて、環境省を選びました。

### 最終的な決め手

環境省の説明会や職員の方のお話の中で何度か耳にした「（環境問題により不当な被害を受けてしまう）弱者に寄り添う政策を」「将来世代まで考えた政策を」という思いに共感したためです。地球環境という人間的に最も重要なものに対し、責任をもって仕事ができることを魅力に感じ、やはり環境省で頑張っていきたいという思いが固まりました。

## □ 就活エピソード

国家公務員以外にも、民間企業から地方公務員まで広く就活を行いました。



### Success !!

説明会等に参加した際、学んだことだけでなく「なぜ環境省に行きたいのか」「環境省でやりたいこと」をこまめにメモしていたこと！官庁訪問直前期に、自分の気持ちを整理する際に役立ちました。

### Failure ...

官庁訪問の2週間前にコロナになり、1週間動けなかったこと。  
（あまりマスクをつけておらず油断していました）

訪問カード作成など、直前の対策が甘くなっていました。



## □ 環境省を目指す方へのメッセージ・アドバイス

「自分が環境省に入って何をしたいか」「どんな思いをもって環境省に訪問しているのか」これらを自分の言葉で伝えることができれば、職員の方は必ず応えてくれると思います。白書や説明会を通して知識を吸収することも重要な一方で「自分の思いを言語化して官庁訪問に挑む」ことがより重要だったと感じています。

内定を獲得するまでの道のりは長く、環境省に行きたい！という気持ちが強い人ほど、つらく不安な感情が出てくると思います。そんな時ほど「なぜ自分は環境省を目指して努力しているのか」を見つめなおしてみてください。熱い思いをもって取り組めば道は開けると思います。頑張ってください！

# No.3 わい（24歳・男）

## プロフィール



|          |               |
|----------|---------------|
| 試験区分     | 化学・生物・薬学      |
| 大学所在地    | 東京都           |
| 学部/研究科   | 物質理工学院        |
| 学科/専攻    | 応用化学系         |
| 研究内容     | リチウム硫黄電池の課題解決 |
| 出身地      | 千葉県           |
| 部活動/サークル | オリエンテーリング部    |
| 趣味/特技    | ゲーム           |
| 好きなもの    | ラーメン          |



## 就活事情

- 併願先(民間)自動車会社
- 併願先(官公庁等)防衛省
- インターン参加先なし



### 大学院1年

民間企業の説明会に参加するも、しっくりこなかったなので、インターンには不参加。

漠然と国家公務員に興味を持ち始め、教材を取り寄せる。

### 大学院2年

3月から本格的に勉強を始め、筆記試験に合格。

内定先がなくて不安だったので、自動車会社を併願。

その後官庁訪問を経、防衛省と環境省で迷いつつも環境省を選択。内定。

二郎系ラーメン  
カタカタヤサイ  
ニンニクアブラ  
を選択。優勝。



## □ 環境省を志望した理由

### 興味を持ったきっかけ

カーボンニュートラルに向けた取り組みに関する研究を行っていたので、自然と環境省に興味を持ちました。また、父と姉が国家公務員として働いているので、身近な職業に感じたことも大きいです。

### 併願先との比較

私は民間と公務員を比較した際、カーボンニュートラルに向けて、実際に自分が研究に携りたいか、幅広い分野で国として大きな影響を与えたいか、この二つのどちらを選ぶかを考えました。結果的には、後者の様々な分野で国として企業を支援する立場である環境省を選びました。

### 最終的な決め手

最終的な決め手は官庁訪問で働いている職員の方とお話しして、職場の雰囲気自分が合っていると感じたことです。また、官庁訪問を通じて、今の環境省が目指している場所はどこか、それに向けて何をすべきか、自分の中で整理でき、自分のやりたいこととマッチしているか確認できたことも大きいです。

## □ 就活エピソード

周りに国家公務員を目指す同期がいなかったもので、通信制の塾を利用して、国家公務員になるためにはどのようなことをすればいいか、情報をかき集めました。



### Success !!

研究をしながらで、なかなか勉強の時間が取れませんでしたでしたが、何を勉強するか明確にし、効率よく勉強できました。

### Failure ...

説明会に全く参加できていなかったもので、官庁訪問が始まるまでに、環境省で働くことのイメージが不明瞭で、最初、何をしたいか聞かれた時に困ってしまいました。



## □ 環境省を目指す方へのメッセージ・アドバイス

研究との兼ね合いで興味のある分野の説明会に参加できなくて、不安になっている方もいらっしゃるかと思います。実際に自分もそうでしたが、官庁訪問を通して学んでいき、内定をいただくことができたので、安心してください。

最後に、就活において大切なことは、後悔しないことだと思うので、もし環境省に限らず、興味のある仕事があるなら、説明会等に積極的に参加しましょう。その上で、悔いの残らないような選択をしてください。

# No.4 フクロウ（25歳・男）

## プロフィール



|          |                           |
|----------|---------------------------|
| 試験区分     | 教養                        |
| 大学所在地    | 京都府                       |
| 学部/研究科   | 薬学研究科                     |
| 学科/専攻    | 薬科学                       |
| 研究内容     | ペプチド・タンパク質の細胞内送達量評価       |
| 出身地      | 兵庫県                       |
| 部活動/サークル | 軽音楽サークル                   |
| 趣味/特技    | スポーツ観戦（TV or アプリで）<br>ドラム |
| 好きなもの    | 果物                        |



## 就活事情

- 併願先(民間)なし（※既卒2年目時）
- 併願先(官公庁等)厚生労働省
- インターン参加先なし

### 大学院1～2年

博士課程への進学を考えていたが、研究が全く進まず、断念（大学院2年の6月頃）。  
就活も全く行っていなかったため、卒業まで研究に集中して、既卒で就活することにした。

### 既卒1年目～2年目

廃棄物処理を行う民間企業を何社か受けて、1社から内定をもらう。しかし、何年もその会社で働く未来が見えず、内定を辞退。  
その後、国家公務員への興味が強まり、お試しで受けた秋試験（教養区分）に合格（既卒1年目の12月）。ただ、官庁訪問の準備を全くしていなかったため、冬の官庁訪問は不参加。翌年の官庁訪問に参加し、環境省から内定をもらう。



明石海峡大橋が見える  
景色が好きです  
（淡路島側から撮影）

## □ 環境省を志望した理由

### 興味を持ったきっかけ

環境問題の悪化で人々が苦しむのを傍観したくない、という思いから環境問題の解決に貢献できる職に就きたいと思いました。そのうえで、日本全体のことを考えながら仕事がしたいと思い、環境省を志望しました。

### 併願先との比較

厚生労働省：最後まで人に寄り添う、を体現していて、粘り強い方、優しい方が多い印象。

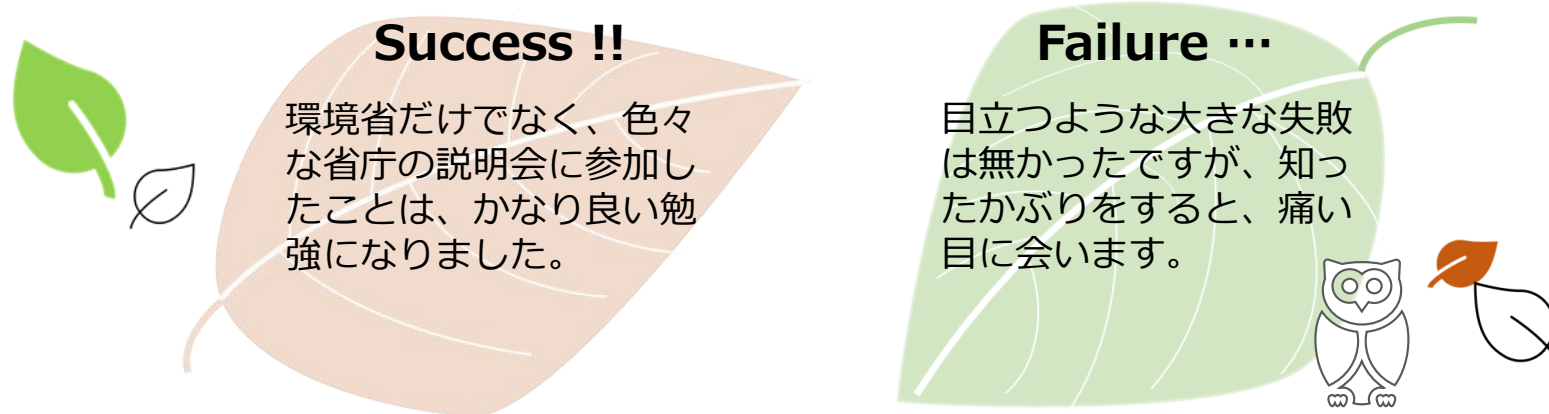
環境省：堅さが無く、フラットな雰囲気。冷静な方が多い印象。

### 最終的な決め手

「人々が苦しむのを傍観したくない」という共通の想いで、厚労省と環境省を志望していましたが、この世に生まれていない将来世代も含めて、人々をより理不尽に苦しめる環境問題に対して、強く解決したい思い、環境省を第1志望としていました。結果として、第1志望の環境省から内定をいただいたので、環境省で働くことを決めました。

## □ 就活エピソード

既卒での就活にかなり不安はありましたが、修士課程で研究をやり遂げた経験は、就活での自分のアピールにおいて、非常に良い材料になりました。また、自分が何をしたいか、1年間じっくり考え抜いたことで、全く後悔の無い選択ができたと思います。



## □ 環境省を目指す方へのメッセージ・アドバイス

色々な就職先を人生の選択肢を考えてみて、そのなかでも環境省で長く働きたいと思うのであれば、是非環境省を受けて欲しいと思います。環境省に関わらず、その企業や省庁に就職したいという強い気持ちと、なぜその就職先を選ぶかの明確な理由があれば、良い結果が得られると思います。私のように通常からは遅れて就活する人も少なくないので、思い通りにいかなくても思い詰めすぎずに、また次も挑戦できると思って、リラックスして試験や面接に望んでください。

# No.5 赤ずきん（23歳・女）

## プロフィール



|          |                                |
|----------|--------------------------------|
| 試験区分     | 工学                             |
| 大学所在地    | 東京都                            |
| 学部/研究科   | 人間文化創成科学研究科                    |
| 学科/専攻    | 生活工学共同専攻                       |
| 研究内容     | 温室効果ガス排出削減に向けた下水処理場の電力需要マネジメント |
| 出身地      | 東京都                            |
| 部活動/サークル | テニス、卓球、プログラミング                 |
| 趣味/特技    | ランニング、旅行、食べること                 |
| 好きなもの    | 乃木坂46                          |

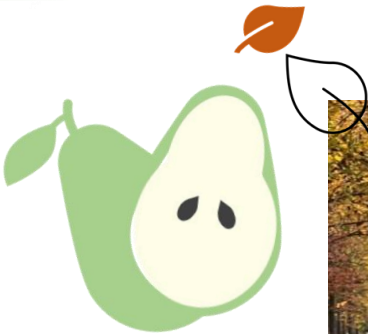
## 就活事情

- 併願先(民間)

なし
- 併願先(官公庁等)

なし
- インターン参加先

国土地理院、鉄道会社



### 大学3年

- 9月 インターンに参加。国家公務員として働くことに魅力を感じ、公務員試験の勉強を開始。
- 1月 配属された環境系の研究室での活動が楽しく、大学院に進学することを決意。

### 大学4年

- 6月 国家総合職大卒程度の試験に最終合格。大学院進学のため官庁訪問は行わず。

### 大学院1年

- 4月 修士課程を1年で修了することを視野に入れ環境省の説明会に積極的に参加し始める。
- 6月 今年度修了する目処が立ち、環境省の春季官庁訪問に参加。内々定をいただく。

ラ・フランスマラソン  
21.1kmを完走しました！  
今度はフルを目指します



## □ 環境省を志望した理由

### 興味を持ったきっかけ

幼少期から鉄道に揺られて色々なまちに行くのが好きで、インフラ整備やまちづくりに興味がありました。大学で環境系の研究室に所属し、太陽光発電との適合性が高い公共施設の稼働方針について研究を行う中で、環境負荷の低いまちづくりに携わりたいと考えるようになり、地域脱炭素の取り組みを推進する環境省に興味を持ちました。

### 併願先との比較

国土交通省や鉄道会社、環境コンサルのインターンや説明会に参加し、それぞれ社会にとって必要で責任のある仕事だと感じました。ですが、環境負荷の低いまちづくりに根本的に関わることができるのは、環境を軸に国際交渉や法整備を進めていける環境省だと考えて、環境省を志望先を選びました。

### 最終的な決め手

官庁訪問でお話をする/伺う中で、自分のやりたいことと環境省でできることが一致すると再認識でき、環境省で働きたいという思いが固まりました。最初は緊張していた面接も、徐々にディスカッションを楽しむ気持ちで臨めるようになり、居心地の良さそうな職場だと感じたことも決め手になりました。

## □ 就活エピソード

学部4年で最終合格をいただいていたからこそ、修士1年時に官庁訪問を行う選択肢が生まれ、一足早く春官庁訪問で内定をいただくことができました。少しでも国家公務員に興味があれば、早いうちからチャレンジすることをオススメします。



### Success !!

環境省の職員さんとの1対1の面談に参加したことで、官庁訪問前に環境省の職員さんの雰囲気を知ることができ、本番の緊張が和らぎました。

### Failure ...

官庁訪問に向かう朝、電車が遅延した上、お腹が痛くなってかなり焦りました。結果的に間に合いましたが、もっと余裕を持っておくべきでした。

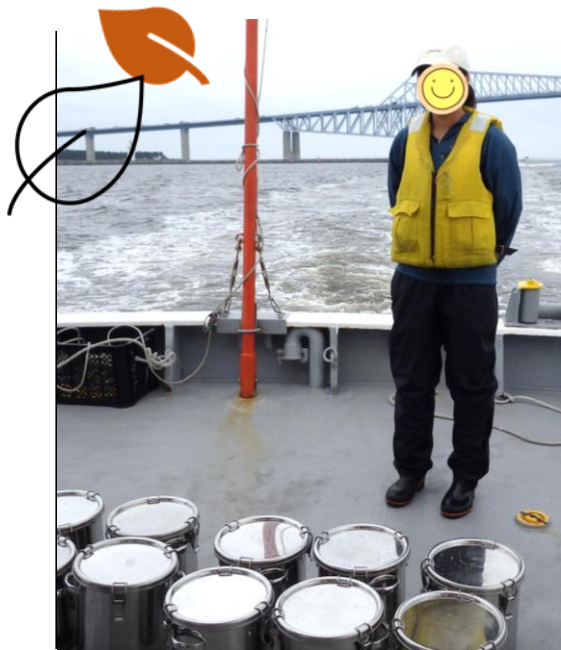


## □ 環境省を目指す方へのメッセージ・アドバイス

私は、職員さんとの対話を重ね、「私の実現したいことは環境省でできるのか」「環境省で求められることが私にできるのか」を繰り返し考えるうちに、自信を持って環境省で働きたいと思えるようになりました。官庁訪問は採用面接ではありますが、経験豊富な人生の先輩方と思う存分対話できる貴重な機会でもあります。官庁訪問の場でじっくりと将来について考えてみるのも良いと思うので、少しでも興味があれば躊躇わずチャレンジしてほしいです。応援しています！

# No.6 琥珀（23歳・女）

## プロフィール



|          |                              |
|----------|------------------------------|
| 試験区分     | 化学・生物・薬学                     |
| 大学所在地    | 東京都                          |
| 学部/研究科   | 農学府                          |
| 学科/専攻    | 農学専攻                         |
| 研究内容     | マイクロ/ナノプラスチック測定法の開発と環境試料への応用 |
| 出身地      | 神奈川県                         |
| 部活動/サークル | バドミントン                       |
| 趣味/特技    | 旅行、映画鑑賞、ピアノ                  |
| 好きなもの    | 山、星空、化石                      |

## 就活事情

- 併願先(民間)      シンクタンク、国立研究開発法人
- 併願先(官公庁等)    気象庁
- インターン参加先    メーカー、コンサル



大学3年  
漠然と、自然と関わって、かつ人の役に立つ仕事がしたいと思い、国家公務員を考え始める。

大学4年  
院試勉強や研究に追われる。（公務員試験の範囲と被るので真面目に取り組んでよかった！）

大学院1年  
4月 腕試しと思い国総の試験を受験。（全く勉強していなかったため、一次で不合格）  
6月～3月 研究の道も考えつつ省庁の説明会や民間のインターンにも幅広く参加。

大学院2年  
5月 研究機関やシンクタンクなどに内々定を頂く。  
6月 国家総合職試験（院卒）合格  
官庁訪問→内々定

自然の中を歩くのが好きです。写真は草紅葉の時期の尾瀬国立公園です。

## □ 環境省を志望した理由

### 興味を持ったきっかけ

私は小学生ぐらいから環境問題に関心があり、温暖化や環境汚染のメカニズムを知りたいと思いそれらを学べる大学に入りました。大学ではプラスチックや化学物質汚染の実態について調査する研究室に所属していましたが、研究で訪れた小笠原諸島で汚染の現状を目の当たりにしたことから、環境問題の実態を明らかにするだけでなく直接的に問題解決に結びつく仕事がしたいと考え、環境省に興味を持ちました。

### 併願先との比較

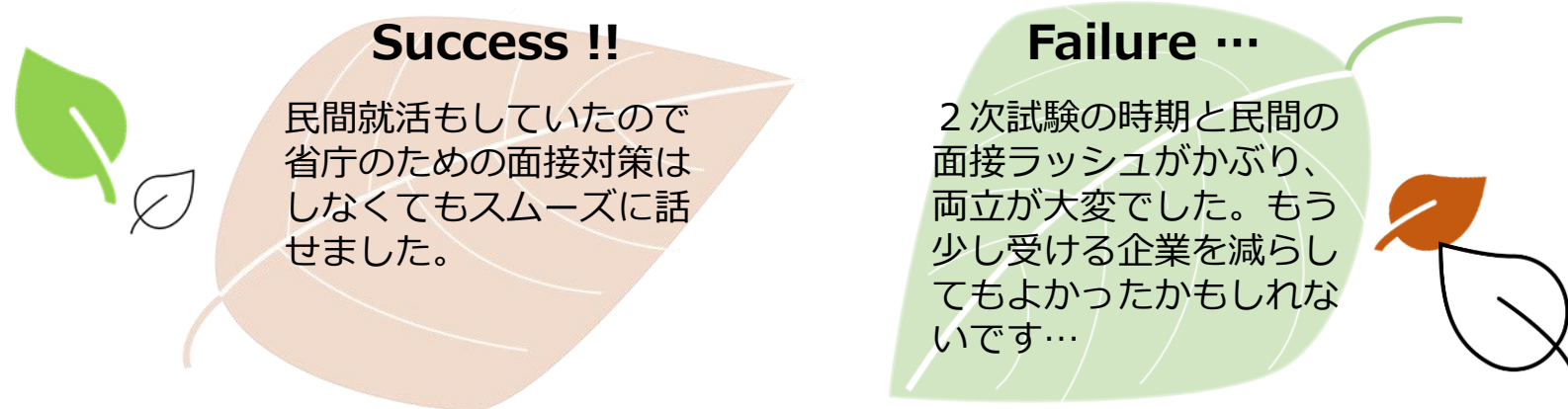
研究機関でマイクロプラスチックや化学物質汚染の研究を続けるかどうかはとても迷いました。研究者としては原因やメカニズムを明らかにできるものの、実際に環境汚染や温室効果ガスを減らせるかどうかは企業や個人の行動にかかる部分が大きく、そこにアプローチするためには法律や政策の立案に関わる国家公務員が最も近いのではないかと考えました。

### 最終的な決め手

自分がどの立場で働きたいかを考えたときに、研究結果や社会の声をもとに政策を進めることによって問題解決を図っていく環境省が一番に思い浮かびました。また、官庁訪問で様々な方から話を伺う中で、職員の方々に共通して環境を良くすることで良い未来につなげるという熱い思いが見られ、このような方々と共に働きたいと思ったことも決め手の一つです。

## □ 就活エピソード

周りに公務員就活をしている人がいなくて情報を集めるのに苦労しましたが、周りと比較せず自分のペースで進められたのは逆に良かったかもしれません。とはいえ不安な時期もあり、そんな時は研究室の同期と話すのが良い息抜きになりました。



## □ 環境省を目指す方へのメッセージ・アドバイス

就活の時期は、様々な場所で働く人の話を聞くことができます。広い視野をもってこの機会を存分に活用し、同時に自分自身とじっくり向き合って将来を考えてみるといいと思います。環境問題に取り組める仕事がたくさんある中で、なぜ環境省なのか、この間に自分なりの答えを見つけるためにもぜひ色々な企業や省庁を見てみてください。長丁場になると思いますが、体調には気を付けて頑張ってください！環境省でお会いできるのを楽しみにしております。

# No.7 まめ (25歳・男)

## プロフィール



|          |                |
|----------|----------------|
| 試験区分     | 工学             |
| 大学所在地    | 千葉県            |
| 学部/研究科   | 新領域創成科学研究科     |
| 学科/専攻    | 環境システム学専攻      |
| 研究内容     | 地方自治体における放射線防護 |
| 出身地      | 兵庫県            |
| 部活動/サークル | テニスサークル        |
| 趣味/特技    | ツーリング、お笑い      |
| 好きなもの    | 激安スーパー         |

## 就活事情

- 併願先(民間)なし
- 併願先(官公庁等)なし
- インターン参加先シンクタンク、国立研究開発法人



大学3年  
コロナ禍で時間ができ、将来について漠然と考えはじめる。

大学4年  
院進を決めていたが国家公務員の採用候補者名簿の有効期限が3年（当時）と知り受験。

大学院1年  
環境省の説明会だけでなく、民間企業のインターンにも参加。

大学院2年  
最終的にやはり環境省で働きたくなり、官庁訪問に参加、内定。

キャンパス内にお寿司屋さんがあります！！



## □ 環境省を志望した理由

### 興味を持ったきっかけ

山と海に囲まれた場所で生まれずっと自然を身近に感じながら育ってきたので、幼少の頃から自然環境への関心がありました。その流れで大学では環境系の学部に入り勉強や研究を行うなかで、環境という軸から社会の仕組みを作りたいと思い、環境省に興味をもちました。

### 併願先との比較

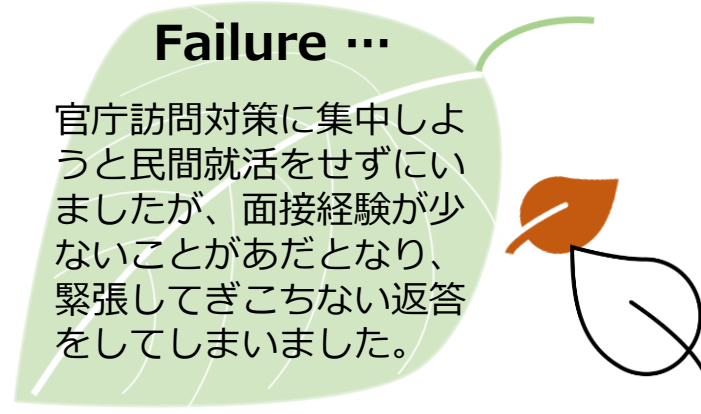
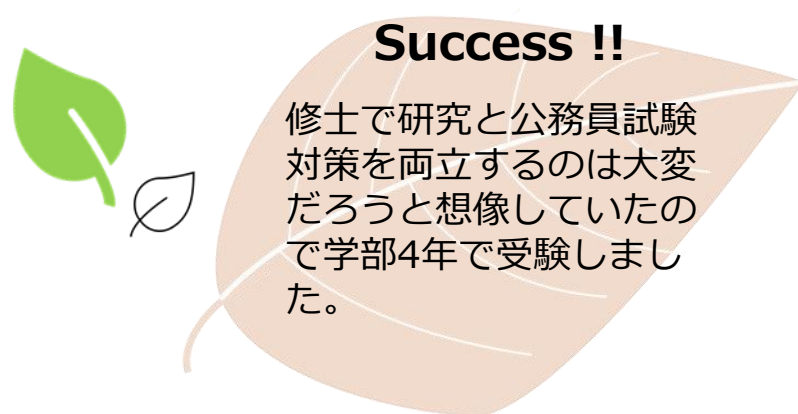
シンクタンクや国立研究開発法人のインターンシップに参加し、大学や大学院で学んだ専門性を生かした仕事にも魅力を感じた一方で、官公庁の幅広い分野の仕事に携われることにも魅力を感じました。

### 最終的な決め手

最終的には自分の就職活動の軸である「環境を軸にした仕事をしたい」ということから、環境問題の解決を主眼にしている環境省に最も魅力を感じ決定しました。

## □ 就活エピソード

公務員試験は出題範囲も実施時期も院試と近かったので、効率よく勉強できました。また、環境省の対面式のイベントに行き先輩職員の方に官庁訪問の様子を教えていただいたので、事前によくシミュレーションすることができました。



## □ 環境省を目指す方へのメッセージ・アドバイス

ホームページやパンフレットを見ることに加え、実際に説明会に参加してみるのでもいいかと思います。また環境省についてももちろんそうですが、他の業界や企業についても調べておくことをおすすめします。そうすることで、なぜ公務員なのか、なぜ国家公務員なのか、なぜ環境省なのか、などについて自分の言葉で話せるようになると思います。

# No.8 Zumi Rock (24歳・男)

## □ プロフィール



|          |          |
|----------|----------|
| 試験区分     | 化学・生物・薬学 |
| 大学所在地    | 東京都      |
| 学部/研究科   | 農学部      |
| 学科/専攻    | 生命化学工学   |
| 研究内容     | 放線菌の研究   |
| 出身地      | 川崎市      |
| 部活動/サークル | ダンスサークル  |
| 趣味/特技    | ブレイクダンス  |
| 好きなもの    | ねこ       |

## □ 就活事情

- 併願先(民間)なし
- 併願先(官公庁等)厚生労働省、税務署
- インターン参加先なし



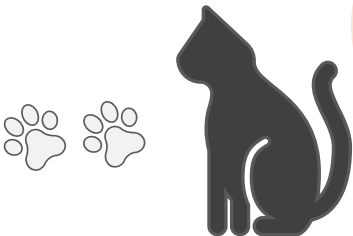
### 大学3年

あまり何も考えてない。単位が足りなくて研究室に配属されず、留年が確定する。

### 大学4年

- 1 回目の大学4年生は授業をたくさんって楽しむ。
- 2 回目の大学4年生では、大学院に進むのかなと思っていたが、なんとなく受けた国家公務員試験に受かったので就職することにした。

アオカビです。  
ペニシリン作ります！  
きれいでおいしそうです。



## □ 環境省を志望した理由

### 興味を持ったきっかけ

国家規模の仕事でかつ、今の学んでいることを活かそうだと思い興味が湧きました。また、人の健康を支える仕事に就きたかったので志願しました。温暖化対策やプラごみ対策、原発事故からの復興事業など先進的なことに取り組んでおり、宇宙ごみにまで活動を広げようとしているフロンティア精神にも惹かれました。温暖化を食い止め珊瑚礁を守りたいです。

### 併願先との比較

環境省は、職場や職員さんの雰囲気がよく、国際的な経験を積む機会が多くあると感じられました。また、理系出身者にもいろんなポストに門戸が開かれていると思います。さらに環境という切り口で環境省の枠にとらわれず様々な分野で活躍できそうだと思いました。

### 最終的な決め手

面接してくれた職員さんが一緒に働く同僚となった時に、居心地が良さそうに感じられたので選びました。また、官庁訪問の際に知り得た限りでは、全ての活動内容に興味を持って、どこの部署に配属されてもやりがいを持てると思いました。

## □ 就活エピソード

留年した時に受けた授業のおかげで、国家公務員試験が解けて受かりました。

### Success !!

2次の専門試験が全く分からず、30分くらいボーっとしてました。諦めて退出しようかと思いましたが、全部の問題に目を通したところ、解けそうなものを発見し残り時間で全力を出しました。諦めないの良いことがありますね。



### Failure ...

最終合格発表後に、官庁訪問の資料を用意したので時間がなくて焦りました。受かりそうであれば、早めに準備しましょう。



## □ 環境省を目指す方へのメッセージ・アドバイス

知らなかったのですが、説明会などがあるそうなので、官庁訪問の際に参加の有無を聞かれますし、ここに就職したいという姿勢を示すためにも行った方がいいと思いました。官庁訪問の面接の際は、自分語りなど一方通行な会話にしないように心がけるといいと思います。質問に対しては必要十分で簡潔な受け答えをし、むしろ、面接してくれる職員さんの話を聞く、自然と話してもらうような形にするのが好ましいと思います。同じ職場で働くことになるかもしれない者として、職員さんを不快に気持ちにさせないことが肝要だと思います。

# No.9 リター（24歳・男）

## □ プロフィール



|          |             |
|----------|-------------|
| 試験区分     | 農業農村工学      |
| 大学所在地    | 東京都         |
| 学部/研究科   | 農学部         |
| 学科/専攻    | 環境資源科学科     |
| 研究内容     | 農地斜面上の降雨の挙動 |
| 出身地      | 愛知県         |
| 部活動/サークル | ゲーム         |
| 趣味/特技    | ポケモンGO      |
| 好きなもの    | ラーメン        |



## □ 就活事情

併願先(民間) 建設コンサルタント

併願先(官公庁等) 農林水産省

インターン参加先 なし

### 大学4年

当初は院進ないし国家公務員一般職を考えていたが、院試と官庁訪問両方が振るわず、担当教員と相談し就職留年を選択。

### 大学4年(2)

院進に対するモチベーションの低下や就活の確たる軸がないという問題があったため、企業バイトやボランティアに参加し、改めてやりたいことを固める。

### 大学4年(3)

やりたい業務に中心的に関われる職が環境省と上記の併願先であるという結論に至ったため、それらに絞って就活。



ポケモンGOをプレイしがてらよく公園巡りをしています。

## □ 環境省を志望した理由

### 興味を持ったきっかけ

東日本大震災被災直後の東北へ訪れたことがあり、その際に見た災害廃棄物の山を見て、被害の甚大さを実感したとともに、その処理について興味を持ったのがはじまりです。その後、「災害廃棄物対策に最も中心となって広く取り組んでいるところ」として環境省に興味を持つようになりました。

### 併願先との比較

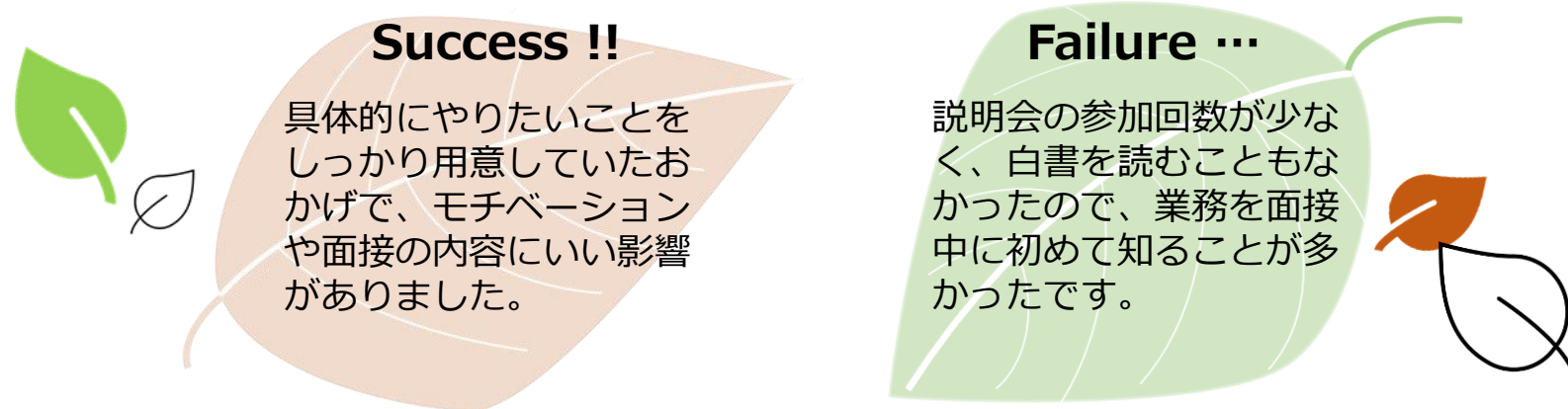
大学の専門に近いのは農林水産省で、農林水産省でやりたいこともあったため、最後まで迷いました。ただ自分の中にある志望につながる具体的なエピソードや興味のある分野の多さを単純に比較した結果、環境省の志望度の方が相対的に高かったように思います。

### 最終的な決め手

環境省の面接官の方から「環境省に入ったとして、30年後はどんな仕事をしていると思いますか」という質問をされた際、具体的でないにしろそこまで悩まず答えを思いついたのに対して、その後農林水産省で同じ質問があったらと考えたときなかなか思い至らなかったというのが一番の決め手になりました。

## □ 就活エピソード

自分が何をしたいのかを明確にするのにひどく時間を取り、またその上志望先を絞ったリスクの高い就活をしていました。最終的に結果はついてきましたが、振り返るともっと視野を広げて行動するべきだったように思います。



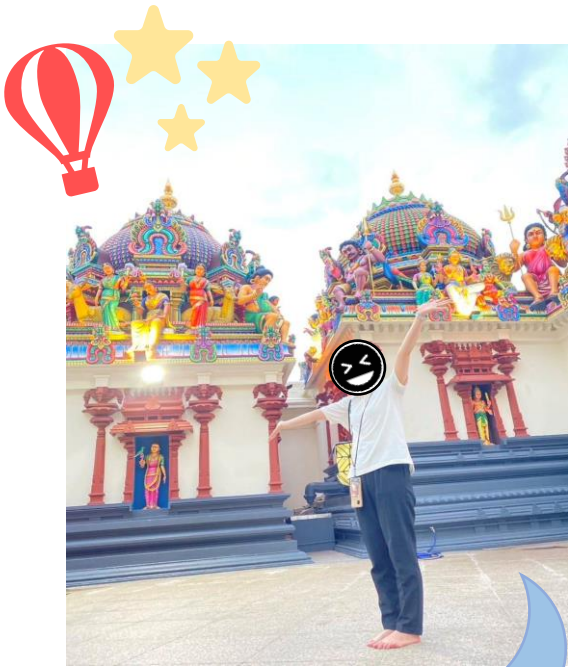
## □ 環境省を目指す方へのメッセージ・アドバイス

繰り返しになりますが、具体的にやりたいことが一つでもあると、かなり話をしやすいほかモチベーションの維持にもつながるので、気になる政策を事前に何か勉強しておくということをお勧めします。

官庁訪問は大変な思いをすることも多いですが、色々な話を聞いて新たな知見を得られる貴重な機会でもあるので、質問に答えるという意識だけでなく、話をしっかり吸収してフィードバックを伝える意識も持つておくにより良いものになると思います。

# No.10 川ジヨ(24歳・女)

## プロフィール



|          |                |
|----------|----------------|
| 試験区分     | 工学             |
| 大学所在地    | 福島県            |
| 学部/研究科   | 理工学研究科         |
| 学科/専攻    | 理工学専攻          |
| 研究内容     | 洪水被害に対する適応策の研究 |
| 出身地      | 山形県            |
| 部活動/サークル | ダンス            |
| 趣味/特技    | 料理・スキー         |
| 好きなもの    | 美味しいごはん・温泉・映画  |

## 就活事情

- 併願先(民間)なし
- 併願先(官公庁等)国交省、気象庁
- インターン参加先国交省河川事務所、環境省サマトラ



### 大学3年

国交省のインターンに参加。

### 大学4年

学部卒業の同級生に便乗して国総と県庁を受験。  
国総1次不合格。

### 大学院1年

環境省のサマートライアルに参加する。  
このあたりから環境省への志望度が高まる。

一般職試験を申し込むも行政区分で申し込んでいた  
ことに前日に気づく。教養だけ受けて帰る。

### 大学院2年

国総1次にまさかの合格。ばたばたと2次試験勉強を  
し、官庁訪問を受け無事内々定獲得。



院で多くの学会に  
参加させてもらえました！  
これはシンガポール！



## □ 環境省を志望した理由

### 興味を持ったきっかけ

気候変動影響や適応策に関する研究グループというものがあり、そのなかの一つとして研究を進めていました。この研究グループに環境省が関わっていたので、環境省が行っている業務内容知ることによって研究に対する視野が広がるかも．．．と思ったのがきっかけです。ちょうど修士1年時のサマートライアルが気候変動への対策を題材としており、この参加を通して環境省に興味を持ちました。

### 併願先との比較

研究が防災関係だったので、防災業務に携わることができる国交省と気象庁を併願していました。イメージとしては、気象庁がデータを収集・整備し、そのデータを国交省が主に適応策として、環境省が主に緩和策として活用しているというものでした。気候変動問題そのものの解決を軸にし、今まで自分が専門にしてこなかった分野を学びながら働くことができる点から、環境省を第1志望にしました。

### 最終的な決め手

データを作る側（気象庁）よりも活用する側（国交省・環境省）、気候変動によって生じる激甚災害への対策（国交省）よりも気候変動そのものへの対策を扱える省庁を、と思い決定しました。しかし一番は、官庁訪問中に環境省で働く方々の雰囲気や考え方が素敵だなと思ったためです。やりたいことはたくさんあって、正直業務内容へのモチベーションはどの省庁でも同じだったので、最終的には直感で決めました。

## □ 就活エピソード

私は総合職と一般職どちらも修士2年のときに受けたので、一般職一次試験の翌日が総合職の官庁訪問開始日となり、とてもハードスケジュールになりました．．．



## □ 環境省を目指す方へのメッセージ・アドバイス

様々な職種を実際に見て、話を聞いてみることをおすすめします。国の仕事は幅広いので自分が興味のある分野以外の仕事になったとき、やめたくなるほど合わない業務はないかを見たり、実際に働く人に聞いたりしていました。視野を狭めずに就活していただければと思います。当時内定者の声を読んで、「私も書く側になるぞ！」と思いながら勉強していました。この体験記が皆様の参考とモチベーションの維持に繋がれば嬉しいです。